

システムズ・マネジメントコース

共通科目(選択必修科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	担当教員	授業概要	備考
02FA141	システムズ・マネジメント特別演習I-I	2	2.0	1	春AB	土5,6	領家 美奈, 佐藤 秀典, 伴 正隆, 津田 和彦, 西尾 チヅル, ベントン キャロライン, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾碕 幸謙, 吉田 光男	研究指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自による研究テーマの絞り込み、博士論文の研究計画書作成を指導し、研究テーマ発表会に臨める形を目標にする。とくに初回は学位取得に関するガイダンスを行うので、できるだけ出席すること。	履修申請は1年次の春A期間 OBD5001と同一。
02FA143	システムズ・マネジメント特別演習I-III	2	1.0	1-3	春ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	春学期に開講するセミナー形式の授業である。システムズ・マネジメント特別演習I-I, IIを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA144	システムズ・マネジメント特別演習I-IV	2	1.0	1-3	春ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	春学期に開講するセミナー形式の授業である。システムズ・マネジメント特別演習I-I, II, IIIを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA145	システムズ・マネジメント特別演習I-V	2	1.0	1-3	春ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	春学期に開講するセミナー形式の授業である。システムズ・マネジメント特別演習I-I, II, III, IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA149	システムズ・マネジメント特別演習II-IV	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	秋学期に開講するセミナー形式のシステムズ・マネジメント特別演習の授業である。システムズ・マネジメント特別演習II-I, II, IIIを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA150	システムズ・マネジメント特別演習II-V	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	秋学期に開講するセミナー形式のシステムズ・マネジメント特別演習の授業である。システムズ・マネジメント特別演習II-I, II, III, IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA151	システムズ・マネジメント特別演習II-VI	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	秋学期に開講するセミナー形式のシステムズ・マネジメント特別演習の授業である。システムズ・マネジメント特別演習II-I, II, III, IV, Vを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA161	システムズ・マネジメント講究I-I	2	1.0	1-3	春ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員によって、または研究指導教員の方針の下で複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに沿った研究の継続を促し、博士論文の骨格となる部分の構築を指導する。	履修申請は春A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA162	システムズ・マネジメント講究I-II	2	1.0	1-3	春ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講する。学生各自に対して研究テーマに沿った研究の継続を促し、関連指導教員の協力を得て、構築した論文骨格を批判的視点から見つめ直すことを促す。	履修申請は春A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA163	システムズ・マネジメント講究I-III	2	1.0	1-3	春ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。春学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに沿った研究を継続、博士論文の骨格部分について中間報告書としてまとめを促し、中間報告会で報告できる形を目標とする。	履修申請は春A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA164	システムズ・マネジメント講究I-IV	2	1.0	1-3	春ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究I-I~IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。	履修申請は春A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA165	システムズ・マネジメント講究I-V	2	1.0	1-3	春ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究I-I~IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究I-I~IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA166	システムズ・マネジメント講究I-VI	2	1.0	1-3	春ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究I-I~IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究I-I~Vを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は春A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。

02FA167	システムズ・マネジメント講究II-I	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員によって、または研究指導教員の方針の下で複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講する。学生各自に対して研究テーマに関連する博士論文の書き方(論文構成、表現方法、文献引用等)を指導する。論文ドラフトの完成を促し、論文ドラフト発表会に臨める形を目標とする。	履修申請は秋A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA168	システムズ・マネジメント講究II-II	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連する博士論文の完成を促し、論文審査委員会に提出できる形を目標とする。	履修申請は秋A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA169	システムズ・マネジメント講究II-III	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	研究指導教員の方針の下で、複数の関連指導教員によって行われるセミナー形式の授業である。秋学期に開講し、学生各自に対して研究テーマに関連する博士論文の完成を促し、論文審査委員会に提出できる形を目標とする。	履修申請は秋A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA170	システムズ・マネジメント講究II-IV	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究II-I~IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。	履修申請は秋A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA171	システムズ・マネジメント講究II-V	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究II-I~IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究II-IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。
02FA172	システムズ・マネジメント講究II-VI	2	1.0	1-3	秋ABC	随時	システムズ・マネジメントコース研究指導担当教員	システムズ・マネジメント講究II-I~IIIの代わりに行われるセミナー形式の授業である。過年度の当該学期のシステムズ・マネジメント講究を既に履修した学生が、さらにシステムズ・マネジメント講究を受講する必要がある場合に開講される。システムズ・マネジメント講究II-IVを履修後に受講することが望ましい。	履修申請は秋A期間。 R1年度以前入学者が履修可能。

専門科目(選択科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	
02FA201	マーケティングコミュニケーション		1	1.0	1-3	秋C	水7,8	西尾 チヅル	本講義では、市場のニーズを充足する製品・サービスを提供し、それを普及・浸透させ、顧客とのよい関係を長期的に形成・維持するために必要なコミュニケーションとその方法について検討する。具体的には、ブランド構築、広告コミュニケーション、セールスプロモーション、顧客維持などに関する国内外の諸文献を講読し、関連する知識と研究方法を体得すると共に、いくつかの具体的なテーマを設定して、マーケティングコミュニケーションの展開方法を議論する。	西暦奇数年度開講。 0BDM201と同一。
02FA203	マーケティング・サイエンス特論		1	1.0	1-3	春B	土2,3	佐藤 忠彦	本講義では、消費者及び企業の行動をモデル化し、マーケティング上有用な高次情報を抽出するための統計的モデリング法について検討を行う。具体的には、階層ベイズモデル手法及びそれらの適用事例について紹介し、関連する知識と研究方法を体得するとともに、最新のマーケティング・サイエンスアプローチを議論する。本講義のキーワードは、ベイジアンモデリング、階層ベイズモデル、マルコフ連鎖モンテカルロ法、市場反応モデル、離散選択モデル等である。	0BD5002と同一。 毎年開講
02FA215	金融工学総論		1	1.0	1-3	秋B	火7,8	山田 雄二	本講義では、派生証券理論やポートフォリオ最適化理論を中心に、金融工学分野に関するより発展的なテーマについて取り扱うことを目的とする。具体的には、アセットプライシング理論、ポートフォリオ最適化理論、金利期間構造モデル、オプションヘッジ理論、電力市場などのテーマからトピックを選択し、論文や研究の方法論について議論を行う。また、当該トピックについて関連論文を読み、発表を行うことで理解を深め、さらなる知識習得を目指す。	西暦奇数年度開講。 0BDM208と同一。 オンライン(同時双方向型)

02FA225	計画数理総論	1	1.0	1 - 3	春C	水7.8	猿渡 康文	企業や社会システムに内在する諸問題の解決にあたって、数理的なモデルを活用することは有益であると広く認識されている。その理由には、定量的な評価が実現されることを挙げることができる。数理的なモデルによる課題解決において、そのモデル化と解決手法は密接に関連している。本講義では、その基盤となるオペレーションズ・リサーチ、特に、数理最適化理論を修得することを目的とする。数理最適化の基盤となる線形最適化を起点に、グラフ理論、ネットワーク理論、組合せ最適化理論や整数最適化理論を網羅的に扱う。これらの理論を体系的に学ぶことで、対象となる現象の問題構造を分析し、得られた結果の意味解釈が可能となるスキルを修得する。	西暦奇数年度開講。 OBDM213と同一。 対面(オンライン併用型)
02FA230	ソフトコンピューティング	1	1.0	1 - 3	秋C	火7.8	領家 美奈	ビジネスにおける意思決定問題には、将来の状況に関する不確実性や状況の記述における言語の曖昧さ、データの不確実性など、従来のクリスプな方法で記述し課題解決することが困難である場合が含まれる。ソフトコンピューティング技術には、曖昧さを扱うファジィ理論やラフ集合、最適化問題の近似解法である遺伝的アルゴリズムや、パターン認識の代表的な方法であるニューラルネットワーク等が含まれる。本講義では、それらの基礎的理論について述べた後、受講生の関心に応じた関連する文献の輪読を通じて理解を深める。	西暦奇数年度開講。 OBDM217と同一。 対面、対面(オンライン併用型)
02FA238	情報検索特論	1	1.0	1 - 3	春C	応談	津田 和彦	インターネットの発達などにより、アクセスできる情報は爆発的に増加している。この莫大な情報の中から、キーワード検索のみが必要な情報を探し出すことは困難になりつつある。このような背景のもと、同義語や類義語、シソーラスなどを用いた概念検索や、個人の検索履歴を用いた意図理解検索、世の中で良く検索されているキーワードを活用した予測検索など、高度な検索技術が開発されつつある。本講義では、これらの高度な検索技術について紹介すると共に、その要素技術および適用分野について紹介する。これらの事例を参考にすることで、情報検索のアルゴリズムについて理解する。	7/8(土) 4~8 限、7/15(土) 4~8限 西暦奇数年度開講。 02CF201, OBDM224と同一。 対面
02FA246	複雑システム論	1	1.0	1 - 3	秋B	土5.6	倉橋 節也	流行現象、流通・取引関係、組織運営、伝染病など、人や組織に起因する社会のさまざまな関係は、複雑システムの視点から捉えることができる。これらを分析する手法として、社会ネットワーク分析や複雑ネットワーク分析がある。また、ネットワークモデルを利用したシミュレーション手法として、社会シミュレーションがある。本講義では、これらの理論的背景とモデリング手法を講義するとともに、実際の現象に対して分析を試みることを通して、複雑システムのモデル化の理論と手法を習得する。	西暦奇数年度開講。 02CF205, OBDM229と同一。
02FA273	共分散構造分析特論	1	1.0	1 - 3	秋C	金7.8	尾碕 幸謙	本講義では、社会科学研究で頻繁に使われる共分散構造分析について、1理論面の理解を深める、2共分散構造分析が使われている応用論文を批判的に輪読し、共分散構造分析の理解を深める、3共分散構造分析について実際のデータ解析経験を積む、のいずれかを学生の興味にあわせて選択し、これを目的として授業を行う。1に関しては、定評のある書籍や論文を使い、近年の発展についても触れる。2に関しては学生各自の専門分野における論文を選ぶ、3に関しては、共分散構造分析の使い方に関する良書を使い、地に足の着いた理解を目指す。	西暦奇数年度開講。 OBDM220と同一。 対面
02FA279	財務会計特論	1	1.0	1 - 3	秋C	木7.8	中村 亮介	本講義では、会計制度の国際化という状況のもとで、財務会計の最新論点(金融商品会計、リース会計、退職給付会計、税効果会計、減損会計、連結会計など)について整理し、これについてのどのような実証研究が行われているのかを主に利益調整という観点から学習する。そして、各ステークホルダーの意思決定に役立つような会計制度を構築するためには今後、どのような研究が必要かを考える。そのため、当該トピックスについて関連論文を読み、発表を行ってもらうことで理解を深める。	西暦奇数年度開講。 OB5004と同一。 オンライン(同時双方向型)
02FA280	経営戦略特論	1	1.0	1 - 3	秋C	土5.6	立本 博文	本講義では、経営戦略論に関連する特定テーマについて概説を行う。特定テーマの選定としては、(1)経営戦略論の様々な研究テーマの中で理論的・実証的に開発途中であり研究対象として重要であるもの(2)近年の社会的状況や学術的トレンドに応じて研究成果が多く報告されているもの、を中心に1つのテーマを選定する。このようにして選定された特定テーマに対して、頻繁に利用される理論的枠組と研究手法を概説する。それに続いて、欧米の主要なジャーナルの論文の中心に輪読し、最先端の研究動向を理解することを目的とする。	西暦奇数年度開講。 OBDM203と同一。

02FA281	組織研究	1	1.0	1 - 3	秋A	火7,8	佐藤 秀典	この講義では、近年の経営組織論分野における研究を取り上げ、そこで用いられている理論および分析のための手法について検討する。経営組織論における研究では、対象とする現象が組織内の個人に焦点を当てるものから組織間のネットワークに焦点を当てるものまで多岐にわたるため、用いられる理論も多様である。また、分析のための手法も定性的アプローチ、定量的アプローチの両方を含み、様々なものが用いられている。そのため、実際の研究の詳細を見ることで、理論の理解を深めるとともに、主要な研究手法についても学ぶ。それにより、自らの研究に生かせるようにすることを旨とする。	OBDM291と同一。 対面
02FA282	計量マーケティングモデル特論	1	1.0	1 - 3	春C	火7,8	伴 正隆	本講義では、マーケティング・サイエンスの分野で登場する、統計学や計量経済学をベースとしたいくつかのモデルについて、Rのbayesmvパッケージを利用してモデルの特性とそのモデルを使用する背景について検討する。 具体的にはロジットモデルやプロビットモデルを代表とする離散選択モデルの消費者パネルデータへの適用を扱い、分析例を通じてモデル構築の素養を高める。	オンラインのみにて実施します。 OBDM292と同一。 オンライン(同時双方向型)
02FA283	国際政治経済の概況と経営	1	1.0	1 - 3	春B	火7,8	礪波 亜希	今日のビジネス環境は国際政治経済と密接にかかわる。例えば、東アジアの国際政治情勢がインフラ投資事業に影響をもたらしたり、地球温暖化で北極の水が溶け、新たな航路が開発されたりする。こうした背景の下、本講義では、国際政治経済の概況を理解するために必要な基本～先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。特に、国際貿易、国際金融、多国籍企業による生産活動、またこうした領域における国際制度、アクター、さらにグローバルめぐる議論について検討を行い、個別の現象がビジネスや国際経営に及ぼす影響を及ぼし得るのかを考える。	日本語ができること OBDM293と同一。 対面(オンライン併用型)
02FA285	金融データ解析	1	1.0	1 - 3	秋B	水7,8	牧本 直樹	本講義では、金融分野で現れるさまざまなデータを利用して金融市場分析を行う際に有用な分析手法やその基盤となる統計理論を修得することを目標とする。具体的には、多変量時系列モデルやレジームシフトモデルなどの時系列モデル、極値理論などについて解説する。あわせて具体的な分析例も紹介する。	西暦奇数年度開講。 OBDM210と同一。 オンライン(同時双方向型)
02FA287	データマネジメント特論	1	1.0	1 - 3	秋A	土3,4	吉田 光男	データは様々な活動を支えるインフラであり、大きな価値を生み出しますが、効果的な活用のためには適切に管理する必要があります。また、研究プロジェクトにおいて、データマネジメントプランの作成も要求されるようになってきています。本科目では、データをマネジメントする上で必要な事項を俯瞰的に理解し、データマネジメントプランの立案について学びます。また、データがもたらす倫理上の問題についての理解も深めます。解説事項については、受講生の興味に合わせて調整します。	Medium of instruction is Japanese. Please see the Japanese syllabus for the details. OBDM230と同一。 対面(オンライン併用型)
02FA294	Scientific Presentation and Writing	1	1.0	1 - 3	春C	土5,6	ベントン キャロライン	研究成果を効果的に英語でプレゼンテーションや議論するためのスキルを育成するための実践的なコースです。学生は各自の研究を英語で発表し、英語での質疑応答セッションに積極的に参加します。	OBDM294と同一。 英語で授業。
02FA421	システムズ・マネジメント輪講I-I	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談	津田 和彦, 西尾チヅル, ベントンキャロライン, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾碕 幸謙, 礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴 正隆, 吉田 光男, 倉橋 節也	春学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は春A期間 OBDM281と同一。

02FA422	システムズ・マネジメント輪講I-II	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談	津田 和彦, 西尾 子ヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾碕 幸謙, 礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴正隆, ベントン キャロライン, 吉田 光男, 倉橋 節也	ビジネスマネジメント輪講I-Iの履修を踏まえ、春学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理科学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は春A期間 OBDM282と同一。
02FA423	システムズ・マネジメント輪講I-III	2	1.0	1 - 3	春ABC	応談	津田 和彦, 西尾 子ヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾碕 幸謙, 礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴正隆, ベントン キャロライン, 吉田 光男, 倉橋 節也	ビジネスマネジメント輪講I-IIの履修を踏まえ、春学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理科学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は春A期間 OBDM283と同一。
02FA424	システムズ・マネジメント輪講II-I	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談	津田 和彦, 西尾 子ヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾碕 幸謙, 礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴正隆, ベントン キャロライン, 吉田 光男, 倉橋 節也	秋学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理科学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は秋A期間 OBDM284と同一。
02FA425	システムズ・マネジメント輪講II-II	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談	津田 和彦, 西尾 子ヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 佐藤 秀典, 尾碕 幸謙, 伴正隆, 礪波 亜希, ベントン キャロライン, 吉田 光男, 倉橋 節也	ビジネスマネジメント輪講II-Iの履修を踏まえ、秋学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理科学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は秋A期間 OBDM285と同一。
02FA426	システムズ・マネジメント輪講II-III	2	1.0	1 - 3	秋ABC	応談	津田 和彦, 西尾 子ヅル, 牧本 直樹, 猿渡 康文, 木野 泰伸, 領家 美奈, 山田 雄二, 佐藤 忠彦, 立本 博文, 中村 亮介, 尾碕 幸謙, 礪波 亜希, 佐藤 秀典, 伴正隆, ベントン キャロライン, 吉田 光男, 倉橋 節也	ビジネスマネジメント輪講II-IIの履修を踏まえ、秋学期に開講し、ビジネス・マネジメントの領域で登場する、経営戦略・経営組織、マーケティング、会計、ファイナンスなどのコア科目、ならびに、現代の経営を高度化する上で重要となる計量分析に代表される数理科学やシステム科学、情報学関連科目について、文献輪読による理解の深化をはかる。ここでは、受講生の要望に合わせて、各分野における基本的理論から先端的な理論や分析手法、事例に関する文献や著書等を輪読する。	履修申請は秋A期間 OBDM286と同一。